

NEWS RELEASE

Gp GRAND PARK HOTEL
OKUBIWAKO MAKINO

奥琵琶湖マキノグランドパークホテル

〒 520-1812 滋賀県高島市マキノ町西浜763-2
TEL 0740-28-1111 <http://www.gphotels.jp/>

【滋賀県初】国内外で話題のグランピングを導入! 2016年10月1日(土)、10:00~予約受付開始

2016年9月

美しい奥琵琶湖の湖畔に、隠れ家のように佇むリゾートホテル『奥琵琶湖マキノグランドパークホテル』(株式会社マックアース／所在地:滋賀県高島市マキノ町西浜763-2／支配人:小栗慶一)は、滋賀県内のホテルとしては初めてとなるグランピングテントを導入。2016年10月1日(土) 10:00より、各種宿泊プランを販売いたします。



“グラビング”とは、グラマラス(glamorous) + キャンピング(camping)を掛け合わせた造語で、**キャンプならではの自然環境の中でホテル並みの快適さやサービスを体験する**という新しいキャンピングスタイル。世界各国での人気に留まらず、日本全国各地にグランピングスポットが続々と誕生、注目が集まっています。

オクビワコ マーヴェラス グリーン
奥琵琶湖マキノグランドパークホテルでは、当施設を【**Okubiwako Marvelous Green(略称:OMG)**】と命名。

“美しい奥琵琶湖の自然と、緑溢れる景観に抱かれる特別な時間”をご体感いただけるグランピングテント3棟は、毎年3月1日～11月末日の期間中、季節を問わずお楽しみいただけます。(12月1日～2月末日までは冬季休業)。

“OMG”はテント1棟につき、最大7名様までご宿泊可能。素泊まりや、お食事付きなど各種プランをご用意しております。テント前でのバーベキュー、ホテルレストランでのお食事の他、お客様による食事のお持込みもOK。さらに、湖畔でのステイをよりお楽しみいただけるアクティビティとして、焚き火セット/カヤック体験(7・8月のみ)/レンタル自転車/釣り道具などもお貸出しいたします(オプション商品につき料金別途)。

国の重要文化的景観や、環境省選定の「快水浴場100選」にも選出された美しい水質を誇る当ホテルのプライベートビーチに誕生。**滋賀県初、雄大な自然の中で心からの寛ぎをお約束する“OMG”は、10月7日(金)よりご宿泊可能です。**

〈本リリースに関するお問い合わせ先〉

奥琵琶湖マキノグランドパークホテル 〒 520-1812 滋賀県高島市マキノ町西浜763-2

イソイシ ユウコ

担当:磯石 裕子

TEL 0740-28-1111 FAX.0740-28-1110 E-Mail:yisoishi@macearthgroup.com

- 予約開始日 2016年10月1日(土) 10:00～ ■宿泊開始日 2016年10月7日(金) 10:00～
- チェックイン 15:00 ■チェックアウト 10:00
- 料金 テント1棟：28,000円～(最大7名様まで宿泊可)
- プラン 1泊2食付きグランピングプラン(4名様～)：15,500円(大人お一人様料金) ※4名様以上はお一人様7,500円の追加
- 食事 BBQ(ホテル手配)：6,000円～ / レストランディナー：3,000円～ / ビーチブレックファースト：1,500円(全てお一人様料金)
- オプション商品 焚き火セット:3,000円 / カヤック・SUP:3,000円(7・8月のみ)/レンタル自転車:500円 / 釣り道具一式:1,000円

【グランピングとは】

「グラマラス(Glamorous)」と「キャンピング(Camping)」を掛け合わせた造語で、ホテル並みの設備やサービスを利用しながら、自然の中で快適に過ごすキャンプのこと。従来型のキャンプとは一線を画し、テントの設営や食事の準備などの手間がかからず、初心者でも気軽に楽しめる点が人気を集めている。

欧米では5年ほど前から流行、日本では、2014年ごろから高級志向と相まって注目され始め、専用施設も増えてきている。

多くの場合、キャンプ場などにあらかじめ設置されたテントやキャビン(小屋)などの施設を利用する。施設はホテルの一室をそのまま自然の中に設置したイメージで、冷暖房や風呂、トイレなどが完備されている。

食事については、用意された食材を焼いてバーベキューを楽しむ、料理がテントに運ばれる、といった形で提供されるため、調理器具を使って作る必要はない。山の中の簡易宿泊施設のようなものから、水辺に面して建ち、室内に天蓋付きベッド、屋外に浴槽、カヌーやプール、アスレチック施設などが完備された高級リゾートホテルのようなものまで様々なタイプがある。

【奥琵琶湖マキノグランドパークホテル】

400万年もの歴史を持つ日本一大きい湖・琵琶湖。なかでも、昔からの美しい自然を数多く残す湖西地区に建つ、隠れ家的なホテルです。「重要文化的景観」に選定された奥琵琶湖マキノグランドパークホテルのプライベートビーチを含む周辺沿岸部の澄んだ湖水と、幻想的な山並みに囲まれた景観は、非日常的な気分を一層引きわだたせます。

ここはまさに、一年中お楽しみいただけるオールタイムリゾートです。

客室は、木の魅力をふんだんに取り入れたログハウスのような空間、湖川の客室からは、ピクチャーウィンドウを通して湖の景色をお楽しみいただけます。また、お食事、宴会、ウェディングなど、高いホスピタリティで幅広いサービスをご提供しています。奥琵琶湖マキノグランドパークホテルの情報は、<http://www.gphotels.jp/>をご覧ください。

■客室総数60室(ファミリールーム20室/ツインルーム20室/セミダブルルーム20室)、レストラン、ラウンジ、宴会場、コンビニエンスショップを併設)



奥琵琶湖マキノグランドパークホテル全景

【株式会社マックアース】

1961年、兵庫県養父市に前身となる食堂を開業、翌年に山小屋をスタートさせる。72年に山小屋を廃してロッジ白樺館をオープン。以来学校団体受け入れを中心に、スキーやフィールドアスレチックなど野外教育をセットにした宿泊施設を展開。2008年に滋賀県国境スキー場を皮切りにスキー場運営を開始。2014年3月に世界最大スノーリゾート運営会社、フランスカンパニーデザルプと資本提携を発表。今後アジア戦略やインバウンドも視野に入れたスノーリゾート再生事業に挑む。

現在、日本国内に35スキー場、29ホテル、14グリーンリゾート、5キャンプ場、9ゴルフコースを運営(指定管理を含む。2015年10月1日時点)。2014-15年冬期運営スキー場総入場者数累計で約294万人。

URL:<http://macearthgroup.com/>

■一ノ本 達己(いちのもと たつみ) 株式会社マックアース 代表取締役CEO

1967年兵庫県生まれ。1990年京都産業大学経営学部卒。同年マックアース入社。1995年同社代表取締役就任。2008年よりスキー場再生事業に乗り出す。

〈本リリースに関するお問い合わせ先〉

奥琵琶湖マキノグランドパークホテル ☎ 520-1812 滋賀県高島市マキノ町西浜763-2

担当:磯石 裕子
イソイシ ユウコ

TEL 0740-28-1111 FAX.0740-28-1110 E-Mail:y.isoishi@macearthgroup.com